

科目名	放送脚本演習			科目コード	1312
開講学科	文芸学科	単位数	4	形態	演習
教員名	槇 映二・杉本浩平				
授業の目的及びテーマ					
放送（ラジオ・テレビ）ドラマの脚本に対する理解を深め、受講生ひとりひとりの創作に結びつける。 作品のテーマ、題材選びから、ストーリー、プロット作り、そして執筆までを実践的に学んでいく。					
授業概要					
演習をⅠ、Ⅱに分け、それぞれ面接授業（スクーリング）を3日間ずつ行う。また、通信の報告課題としてラジオドラマとテレビドラマの企画書を1作ずつ提出する。 面接授業は、講義と実作を取り混ぜて行う。演習Ⅰでは、放送ドラマ全般に渡る講義とラジオドラマについての内容が主となる。作品の試聴や創作の時間も設ける。演習Ⅱではテレビドラマを中心とした講義と作品鑑賞。同じく脚本創作の時間を設ける。 通信授業は2件の課題提出。ラジオドラマの企画書とテレビドラマの企画書。					
授業計画					
面接授業 「演習Ⅰ」 1日目…放送脚本とは。ドラマとは。何を書くか。創作の手順。人物の描き方。魅力ある台詞の書き方。 ラジオドラマ試聴。 2日目…ラジオドラマの特質と書き方。 シチュエーションやキーワードを与え、物語や脚本を執筆する。 3日目…ドラマの企画と発想法。2日目に書いた各々の作品に対するアドバイス。 ラジオドラマ試聴。感想レポート提出。  「演習Ⅱ」 1日目…ホームドラマを中心に、その歴史と作品の分析。テレビドラマ鑑賞。 シチュエーションを与え、ストーリーを執筆する。 2日目…トレンドドラマを中心に、その歴史と作品の分析。テレビドラマ鑑賞。 ストーリーをもとに脚本を執筆する。 3日目…キャラクタードラマを中心に、その歴史と作品の分析。テレビドラマ鑑賞。 脚本の合評。					
通信授業 第1課題…「ラジオドラマの企画書」（30～45分） 第2課題…「テレビドラマの企画書」（60分）					
テキスト	「放送脚本演習」和田浩明著		参考文献	適宜、プリントを配布する。	
評価方法：受講態度。作品の評価。					
通信授業は提出課題2件を以って評価する 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					